Befruchtung und Reduktionsteilung bei *Nemalion multifidum*. Ber. Deut. Bot. Ges. **35**: 155-164. —— 1923. Studien über die Entwicklungsgeschichte der Florideen. K. Svenska Vetensk Akad. Handl. **63**: 139. —— 1956. Die Gattungen der Rhodophyceen. Gleerup, Lund. 673. 森通保 1948. ウミゾウメンの果胞子体の発生. 医学と生物学 **12**: 54-56. 岡村金太郎 1936. 日本海藻誌. 内田老鶴圃, 東京. 964. 瀬川宗吉 1956. 原色日本海藻図鑑. 保育社, 大阪. 175. 梅崎勇 1961. ウミゾウメンの生殖器官の発達について. 植研. **36**: 129-133. Wolfe, J. J. 1904. Cytological studies on *Nemalion*. Ann. Bot. **18**: 607-630.

○高等植物分布資料 Materials for the distribution of vascular plants in Japan.

93 ヤマナシウマノミツバ *Sanicula kaiensis* Makino et Hisauchi. 本種は山梨, 長野, 静岡, 群馬に分布するが, これについては奥山春季氏が植物採集ニュース 69 号 91頁 (1973) に詳しく解説しておられる。長野県下では従来南佐久郡川上村梓山と北佐久郡軽井沢町に知られていた。筆者は 1974年10月11日, 南佐久郡佐久町茂来山 1650 m 附近で, また 1975 年10月10日, 小諸市浅間山の一の鳥居附近 1500 m で, いずれも10株ほど発見した。前者はミズナラ, ダケカンバなどの林下, 後者はミズナラ林中の登山道端であった。茂来山の標本は東大理学部植物学教室標本室に入れた。

(長野県佐久郡望月町布施小学校 池田登志男, Toshio IKEDA)

□H. van den Ende: **Sexual Interactions in Plants.** The Role of Specific Substances in Sexual Reproduction. 186 pp. Academic Press. London (1976). 価格 £6.80。例えば第10章をみると, シダ類の前葉体の多くは雄性先熟であるが, この現象は成熟した前葉体から分泌される物質により誘導されることが 1950 年に証明されていること, 後にこの物質が antheridiogen と名づけられたこと, このホルモンは化学的に研究された結果, 分子式 $C_{19}H_{22}O_5$ をもつ物質であり, その化学構造はジベレリンとよく似ており, またその生理作用にも似たところがあること, この物質の造精器形成の誘導には光条件が密接に関与することなど, 諸学者の研究結果がほぼ年代を追って要領よく簡潔にレビューされている。全体は 11 章よりなるが, 総論的な第 1 章を除く各章に扱われる植物はそれぞれ, カワリミズカビ, ワタカビ, ケカビ, 酵母, クラミドモナス, ボルボクス, サヤミドロ, 褐藻 3 種, シダ類, 種子植物であり, いずれも有性生殖とかかわり合いをもつ特殊な物質の役割について最新の研究成果が解説されている。生理学者による本であるが, 記述は平易であり, 内容は理解し易い。

(千原光雄)